



湯河原ロータリークラブ WEEKLY REPORT



2021年5月14日(金)
例会 第2833回

天気：くもり
合掌：奉仕の理想

ロータリーは機会の扉を開く

会長 山本明峰
幹事 佐藤友彦

事務所：神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716
例会場：ニューウェルシティ湯河原 静岡県熱海市泉 107
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401
例会日：毎週金曜日 12:30～13:30

会長挨拶

今日は、後ほど町地域政策課の出前講座でも触れられる事と思いますが、例年同様「ゆがわら国際交流協会」への助成金のお渡し日です。当クラブでも多くの会員が関わっている団体です。昨年度は御多分に洩れず多くの行事が中止となった様ですが、唯一「国際フォーラム」というイベントが YouTube のライブ中継と併せて実施されたという事です。先日、私もまだ配信されている 1 時間半ほどの動画を拝見しました。外国出身者の日本体験記みたいなものは結構興味を惹かれるものですが、少々気になったのは、電車で若者が席を譲らないという話を複数のパネラーが述べていたことです。これには言い訳してみた説を、例えば脳科学、心理学或いは動物行動学やプロクセミックスの理論等を援用して、どうして「立ち上がれないのか」を考察するさまざまな議論もある様なのですが、根本はやはり教育と、そして何より勇気の問題なのではないかと思考するところであります。

スマイル BOX

5/14～20

会員誕生日 常盤孝司君 (5/9)
結婚記念日 常盤孝司君 (5/7)
ポールハリスフェローピン2つ 神谷一博君
山本明峰君
本日、ついっっかり点鐘前にスープを一口飲んでしまいました。面目ありません。
平間章弘君 ワクチン打ちます。
石川博君 ワクチンとれました。

卓話：伊藤 伸之君

代講 湯河原町地域政策課 主事 齊藤 早紀 様
湯河原町が交流している海外の都市と国際交流事業について

今回は、湯河原町が交流している海外の4つの都市と国際交流事業についてお話しいたします。

・大韓民国・忠州市（海外姉妹都市提携）

忠州市は、韓国の中央の東北部に位置する人口約 21 万人のまちで、りんごの産地としても有名です。郊外には韓国有数の温泉地にして観光客に人気の「水安堡(スアンポ)温泉」があり、山間部で自然が満喫できる、湯河原温泉と同じような温泉地です。以前から温泉が持つ縁により民間レベルで交流があり、平成 6 年 11 月、湯河原町は忠州市との姉妹都市提携を締結しました。その後、湯河原町と忠州市の職員を相互に派遣する人事交流を実施したほか、役場ロータリーに寒桜とりんごの木を植樹しています。住民間ではスポーツを通じた交流を行っており、平成 12 年には 2 つの町のサッカースポーツ少年団が互いの町を訪問したことをはじめ、平成 26～28 年には忠州市の「りんごマラソン」へ湯河原町の市民ランナーが、湯河原町の「ゆがわらオレンジマラソン大会」へ忠州市の市民ランナーがそれぞれ参加しました。

幹事報告

幹事報告 なし
連絡事項 なし

出席報告	ゲスト 2 名 ビジター 0 名	会員 25 名
	欠席 6 名(免除者 1 名)	前回の修正出席率 87.50%
	出席率 79.17%	前々回の修正出席率 83.33%

事前メイクアップ 0 名

ゲスト 湯河原町地域政策課 齊藤早紀様
湯河原町地域政策課 木村修太様

現在も卓球を通じた交流が行われるなど、様々なスポーツ交流が図られています。

・オーストラリア・ポートスティーブンス市（海外姉妹都市提携）

ポートスティーブンス市は、シドニーより約150km北に位置する人口約6万5千人のまちで、豊かな自然と温暖な気候に恵まれています。民間の国際交流団体の交流をきっかけに、平成9年12月にポートスティーブンス市長が湯河原町へ訪問した際、生徒の相互派遣や文化交流が提案されたことで提携に至りました。以降、平成11年から毎年、湯河原町の中学生がポートスティーブンス市を訪問し、ホームステイをしながら現地の学校に通い、同世代の学生達やホストファミリーなどと交流を図っています。湯河原町でも平成26年以降、授業体験や文化交流、市民合唱団とのコラボレーション公演を実施しました。

・イタリア・ティヴォリ市（友好親善都市）

ティボリ市は、ローマを東に約30km、ティブルティーニ山の西側に位置する人口約5万7千人のまちです。イタリア屈指のワイン生産量を誇るアブルツォ州との交易支配に優位な場所にあったことから、古くから重要な場所として知られており、市内にはヴィッラ・アドリアーナ、ヴィッラ・デステという古代ローマ時代とルネッサンス期を代表する二つのユネスコ世界遺産があります。ティボリ市とは湯河原町商工会を中心とした民間レベルの交流に始まり、温泉という共通の観光資源、特にティヴォリ市が温泉治癒の先進地であることも重なり、平成28年9月、湯河原町はティヴォリ市と友好親善都市として提携しました。ティヴォリ市との交流は平成29年以降、湯河原観光大使らのティヴォリ市市民フェスタへの参加と、ティヴォリ市市民サッカー選手団の来町による子どもサッカー教室や親善試合の開催を皮切りに、活発な芸術文化の交流が続いています。なおこれら3都市には海外駐在員が配置され、現地の情報を町ホームページでお届けしています。

・タイ王国・ブンイトー市（相互協定に関する覚書）

元々は湯河原町の介護予防の取組みに対し、横浜の民間団体を経由してタイ王国が関心を持たれたことをきっかけに、自治体首長などの訪問団が湯河原町へ行政視察に訪れたところから交流が始まりました。中でもブンイトー市はタイ王国で初の本格的な高齢者デイケアセンターの設立を目指しており、令和元年7月、両市町は高齢者福祉、観光等の様々な分野で積極的な情報交換を行うための「相互協定に関する覚書」を締結しました。湯河原町ではこの交流がきっかけとなり、外国籍職員の雇用を開始しました。現在、タイ国籍の2人が駅前観光案内所に配属され、英語での観光案内に活躍しています。

・国際交流事業

現在、「ゆがわら国際交流協会」が主となって数々の事業が実施されています。

1. 日本人向け語学講座と外国人向け日本語支援教室

この講座ではネイティブの講師をお招きし、例年、2つの講座を実施しています。昨年は、スペイン語と中国語の語学講座が実施され、とても好評だったと伺っています。今後、町内在住の外国人向け日本語支援教室も開講予定ですが、現在ボランティア講師を募集しています。ご興味のある方は地域政策課までご連絡ください。

2. 国際フォーラムと各国文化体験

国際フォーラムでは、湯河原ゆかりの外国籍の方々がパネラーとなり、パネルディスカッションを実施しています。一方、各国文化体験ではひとつの国をテーマに、地理や歴史、文化を紹介するブースの設置や、芸術品展示や物産品販売、スポーツ体験などを行っています。一昨年に行われた「インドの日 in ゆがわら」では、舞踊紹介や民族衣装の試着体験、ファッションショーが行われ、盛り上がりました。

3. 地球民ラウンジ in ゆがわら

現在、外国籍住民の生活時の困りごとの解決や、住民同士の日本語による交流、情報共有の場として開設されているサロン「地球民ラウンジ in ゆがわら」が毎月第2日曜日の午前10時から午後5時までと毎月第2水曜日午後5時から午後9時まで城堀会館で開催されています。湯河原町といたしましても、総合計画の基本目標で掲げております「ともに支え合い笑顔で暮らせるまちづくり」を目指して、協力をしていきます。

